

平成30年度公正取引委員会調達改善計画

平成30年3月30日
公正取引委員会

平成30年度公正取引委員会調達改善計画について、「調達改善の取組の推進について」（平成25年4月5日行政改革推進本部決定）及び「調達改善の取組の強化について（調達改善の取組指針の策定）」（平成27年1月26日行政改革推進会議取りまとめ）を踏まえ、以下のとおり策定する。

1 調達改善計画の目的

限られた財源の中で政策効果を最大限向上させるためには、政策の遂行に必要な財・サービスの調達を費用対効果において優れたものとするのが非常に重要である。他方で、調達の目的や財・サービスの性質に応じた最適な調達方法等を検討するほか、国の調達活動の公共性に鑑み、経済性に加えて、公平性、透明性、履行の確実性、各種の法令等の遵守、国の諸政策との整合性などの幅広い観点からの考慮が必要となる。

公正取引委員会における調達改善に当たっては、これらの要請に応えるために、調達する財・サービスの特性を踏まえ、主体的かつ不断に創意工夫を積み重ねることとし、透明性、外部性を確保しつつ、自律的かつ継続的に取り組み、推進することとする。

2 調達の現状分析

公正取引委員会は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）及び下請代金支払遅延等防止法（昭和31年法律第120号）等の厳正かつ適切な執行を主たる職務としており、多くの財・サービスを調達して行う事業は実施していない。そのため、財・サービスの調達について、その内容は年度によって大きく変化することはなく、経費の構成もおおむね同じである。

平成28年度における調達の契約種別、調達の応札状況及び調達経費の内訳は、以下の表1、表2及び表3のとおりである。

表1 平成28年度公正取引委員会における調達の契約種別

| 契約方式 | | 契約件数 | 契約金額 |
|------------|--------------|-----------|----------------|
| 競争性のある契約 | 競争入札 | 44件（56%） | 1億5156万円（39%） |
| | 企画競争による随意契約 | 1件（1%） | 3765万円（10%） |
| | 公募による随意契約 | 3件（4%） | 508万円（1%） |
| | 不落・不調による随意契約 | 2件（3%） | 3726万円（10%） |
| | 小計 | 50件（64%） | 2億3155万円（59%） |
| 競争性のない随意契約 | | 28件（36%） | 1億5949万円（41%） |
| 合計 | | 78件（100%） | 3億9104万円（100%） |

（注1） 平成28年度の契約に関する統計等に基づき作成（少額随意契約は含まない。）。

（注2） 金額及び比率については、それぞれ単位未満四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

表2 平成28年度公正取引委員会における調達の応札状況

| | 1者 | | 2者以上 | | 合計 | |
|-------------|------|-------|------|----------|------|----------|
| | 契約件数 | 契約金額 | 契約件数 | 契約金額 | 契約件数 | 契約金額 |
| 競争入札 | 2件 | 846万円 | 42件 | 1億4310万円 | 44件 | 1億5156万円 |
| 割合 | 5% | 6% | 95% | 94% | 100% | 100% |
| 企画競争による随意契約 | 0件 | 0円 | 1件 | 3765万円 | 1件 | 3765万円 |
| 割合 | 0% | 0% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 公募による随意契約 | 0件 | 0円 | 0件 | 0円 | 0件 | 0円 |
| 割合 | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% |

（注1） 平成28年度の契約に関する統計及び内閣官房調査等に基づき作成（少額随意契約は含まない。）。

（注2） 金額及び比率については、それぞれ単位未満四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

（注3） タクシーチケット供給業務など公募を実施した結果、複数者からの応募があり、かつ、当該応募者のうち一定の条件を満たした複数者と契約を締結したものについては、本表における「公募による随意契約」として計上していない。

表3 平成28年度公正取引委員会における調達経費の内訳

| | 本省 | | 地方支分部局等 | | 府省庁全体 | |
|------------|------|----------|---------|-------|-------|----------|
| | 契約件数 | 契約金額 | 契約件数 | 契約金額 | 契約件数 | 契約金額 |
| 情報システム (A) | 6件 | 9136万円 | 0件 | 0円 | 6件 | 9136万円 |
| 割合 (A/I) | 8% | 24% | 0% | 0% | 8% | 23% |
| 雑役務費 (B) | 20件 | 1億153万円 | 0件 | 0円 | 20件 | 1億153万円 |
| 割合 (B/I) | 27% | 27% | 0% | 0% | 26% | 26% |
| 通信運搬費 (C) | 9件 | 7793万円 | 5件 | 915万円 | 14件 | 8708万円 |
| 割合 (C/I) | 12% | 20% | 100% | 100% | 18% | 22% |
| 借料及び損料 (D) | 10件 | 3316万円 | 0件 | 0円 | 10件 | 3316万円 |
| 割合 (D/I) | 14% | 9% | 0% | 0% | 13% | 8% |
| 備品費 (E) | 5件 | 2950万円 | 0件 | 0円 | 5件 | 2950万円 |
| 割合 (E/I) | 7% | 8% | 0% | 0% | 6% | 8% |
| 消耗品費 (F) | 14件 | 2814万円 | 0件 | 0円 | 14件 | 2814万円 |
| 割合 (F/I) | 19% | 7% | 0% | 0% | 18% | 7% |
| 印刷製本費 (G) | 5件 | 1539万円 | 0件 | 0万円 | 5件 | 1539万円 |
| 割合 (G/I) | 7% | 4% | 0% | 0% | 6% | 4% |
| その他 (H) | 4件 | 487万円 | 0件 | 0万円 | 4件 | 487万円 |
| 割合 (G/I) | 5% | 1% | 0% | 0% | 5% | 1% |
| 合計 (I) | 73件 | 3億8189万円 | 5件 | 915万円 | 78件 | 3億9104万円 |
| | 94% | 98% | 6% | 2% | | |

(注1) 平成28年度の契約に関する統計等に基づき作成（少額随意契約は含まない。）。

(注2) 金額及び比率については、それぞれ単位未満四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注3) 「情報システム」は予算科目（情報処理業務庁費及び電子計算機等借料）に該当するものを計上、他の区分は費途別に計上（「情報システム」に係るものを除く。）。

3 重点的な取組及び共通的な取組

別紙1のとおり。

4 その他の取組

別紙2のとおり。

5 自己評価の実施方法

調達改善の自己評価については、調達改善計画の実施状況に基づき、上半期（4月～9月）終了後及び年度終了後に実施し、自己評価結果をその後の調達改善の取組や調達改善計画の策定に反映させるものとする。

6 調達改善の推進体制等

「公正取引委員会調達改善推進チーム」を設置し、調達改善を推進するための体制を次のようにする。

| | |
|--------|-----------|
| 総括責任者 | 官房総括審議官 |
| 副統括責任者 | 官房総務課長 |
| メンバー | 官房総務課企画官 |
| | 官房総務課会計室長 |
| 事務局 | 官房総務課会計室 |

推進チームによる会合は必要に応じて開催するものとする。また、事務局は、半期ごとに進捗状況を推進チームへ報告する。

7 外部有識者の活用

取組の推進に当たっては、公正取引委員会契約監視委員会各委員の意見を活用する。

以上